倉持 守 議員

守谷市との協議、県への要望

都市計画道路鹿小路細野線（西幹線）について

議員 都市計画道路鹿小路細野線、通称西幹線の進捗状況と計画されている鹿小路から（仮）新滝下橋までの今後の予定を尋ねる。

都市建設部長 現在の進捗状況は、着工延長3080ｍ、着手率約83％、用地契約率97％である。つくば野田線から（仮）新滝下橋までの整備については県の施工分であるため、早期着工に向け、守谷市と連携を取り、県に要望していきたい。

議員 どのくらいの工事予定を目指してやっているのか。

都市整備課長 つくば野田線から供平板戸井線までの区間については、今のところはっきりした予定年数は決まっていないが、守谷市と連携をとりながら、早急に着手できるよう県に要望していきたい。

議員 守谷市とは何回くらい、どのくらいの話が進んでいるか。

都市整備課長 19年に建設推進期成同盟会の設立に向けた協議を行い、続いて今後の事業の進め方の協議を行った。そして24年には、早期の整備ということで守谷市議会から茨城県知事に意見書が提出されている。また常総市においては、26年に中村安雄議員外5名の方から常総市長に要望書が提出されている。

議員 橋に関しては守谷市との話し合いだけでなく、つくばみらい市、坂東市、近隣市町村に協力を要請しながら早めていっていただきたい。私たち議会も大いに押していきたいと思う。そしてまた、守谷市との協議、県への要望、これも強くやっていただきたい。

掲載できなかった質問　・子育て支援利用者負担金について

一般質問 JOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORIJOSOSHIGIKAIDAYORI 一般質問

石川 栄子 議員

不安のない在宅介護

介護・医療について

議員 厚生労働省は、医療・介護・介護予防・住まい・生活支援が一体的に提供される地域包括ケアシステムの構築を進めているが、要介護の高齢者がふえ、とても老人ホームに入れない状況である。特別養護老人ホームに入所できない方々、待機者はどこで暮らし、誰が介護しているのか。また待機者数はどうなっているのか。

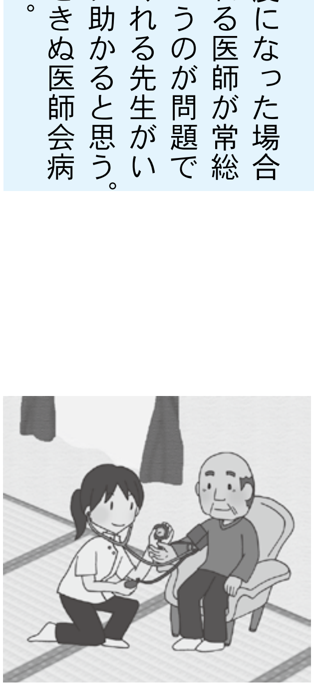
保健福祉部長 27年3月末現在の待機者は、全施設で476名である。待機者の受け皿として、デイサービス、訪問介護、ショートステイ、グループホームなどがある。どの施設にも入らず、在宅で待機されている方が178名いる。

議員 自宅介護で重度になった場合に、往診してくれる医師が常総市にはいないというのが問題である。往診してくれる先生がいれば家族は本当に助かると思う。訪問診療の新設をきぬ医師会病院にお願いしたい。

保健福祉部長 現在、市内で訪問診療を専門に行っている医療機関はなく、今後もきぬ医師会病院での実施は予定されていない。

市長 市も財政支援をしており、やはりきぬ医師会に中心になってやってもらわないと常総市の地域包括はできない。積極的に働きかけていきたい。

議員 医療と介護の連携は非常に大切である。訪問看護・訪問医療に訪問介護をプラスして24時間対応にならなければ安心できない。大変だなと思ったときにいつでも駆けつけてくれる、そんな体制がとれなければ在宅だけではとても介護はできない。



掲載できなかった質問　・国民健康保険について　・公務労働について